

## ＜教育利用＞ ① 「英検対策指導における活用事例」

・スピーキングテストの採点基準とオリジナル問題の作成



## 1. 期待すること

英検対策の指導において、ゼロベースから作成すると時間がかかってしまうタスクをChatGPTで作成。教員の負担軽減と生徒の学習意欲向上を図る。

## a. スピーキングテストの採点ループリックを作成

→生徒のスピーキングの採点基準のため、ChatGPTでループリックを作成した。

## b. 実力テストを作成

→本校では第3回英語検定を全員受験。冬季課外や冬季休業中の課題で英検対策を行った。そのまとめとしてオリジナル英検用問題を作成するため、ChatGPTを利用した。

## ＜オリジナル英検問題の作成方法＞

①単語・文法系問題：過去問を入力し、同じ形式・レベルで作成するよう指示。出てきた問題の設問を級毎に入れ替えて完成。

②長文問題：300 words程度の英文、タイトルと語彙レベル、設問内容と解答を指示。出力された文章の内容を吟味し、タイトルを何回か変更。また解答が本文内から導き出せないものだったので再度指示して作成。問題文、設問の語句を級毎に調整して完成。

## 2. 考察

プロンプトの内容を考えるのに時間を要したが、様々な視点で「問い方」を考察することができ、自分の学びにも繋がった。現在ではインターネット上で様々なプロンプトが利用可能なので、まずはそれらを参照してよいと思う。